

地歴公民科

教科名	地歴科	科目名	世界史研究
科目の目標	(1)歴史についての興味関心を深め、基本的な歴史用語を理解する。 (2)歴史の学習を通して現代社会についての理解を深め、歴史の方法論を学ぶ。		
履修学年	3年	類型	文系・理系共通
単位数	2単位	履修形態	選択
教科書	世界史B(東京書籍)	副教材等	グローバルワイド最新世界史図表(第一学習社)

①学習の目標

- (1)人間の尊重と科学的な探求の精神にもとづき、広い視野を持って歴史とそこに存在している人間についての理解を深める。
- (2)自国の歴史を正しく理解するために、混迷を深める国際社会を生き抜くための世界観を提示し、自主的・意欲的な学習に結びつける。

②学習内容と授業の進め方

欧米における近代国家の成長
 欧米における近代国民国家の発展
 近代日本の成立
 アジア諸地域の動揺
 帝国主義とアジアの民族運動
 近代日本とアジア、占領下の時代、高度経済成長
 二つの世界大戦
 冷戦とアジア・アフリカ世界の自立
 激動する世界と日本
 現代の世界
 (文系のみ)
 私大・二次向け演習

③学習に当たっての留意点

歴史は、興味深いものであると同時に正しい歴史観が社会を見る目を養い、現代社会の諸問題の解決に重要な意味を持つことは言うまでもない。また、自国の歴史を正しく理解することは、他の国や世界全体を理解するための基礎となる。一方で、2年生の段階で世界史を選択した人には、世界史が必須受験科目であるという現実もある。

本校の3年生での世界史研究は、日本の近現代史についての基礎的な知識を身に付け、正しい歴史認識を持つこととあわせて、2年生の段階で不十分である世界史の近現代史を学習し、歴史を中心に社会科学の方法論を学んでいく。

④評価の観点

- | | |
|-------------------------|--|
| (1)関心・意欲・態度
【関】 | 歴史に対しての興味・関心を持ち、歴史学さらに社会科学の方法論を身につけることができたか。 |
| (2)思考・判断
【思】 | 歴史に対しての興味・関心を持ち、歴史学さらに社会科学の方法論を身につけることができたか。 |
| (3)資料活用 of 技能・表現
【資】 | 教科書・資料集等を活用して、興味を持った事柄について調べることができるか。 |
| (4)知識・理解
【知】 | 授業の内容を理解し、センター試験レベルの知識を身につけることができたか。 |

⑤評価の方法

下位目標:授業の内容と世界史の基本の確認、知識の定着。

中位目標:歴史に対しての興味・関心を持ち、関連する現代社会の諸事象への理解を深める。

上位目標:歴史を学ぶことを通して、歴史学さらに社会科学の方法論を身に付ける。

以上の目標について、どの段階まで達成できたかを、定期考査中心に、授業中の観察を加味して総合的に評価していく。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4 5 6	欧米における国民国家の形成	大交易時代宗教改革主権国家体制 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン ウィーン体制 ヨーロッパの再編 アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米の文化	・欧米の近代化、革命と産業発展、国家形成についての知識【知】 ・産業の発展が国家の成立に果たした役割と各国の経済活動に関する理解【知】 ・日本の幕藩体制が近代化に遅れた原因についての興味・関心【関・思】 前期中間考査
7 8 9	産業資本主義の発展と帝国主義 アジア諸地域の 変革運動	近代日本の成立の時代を、同時期の欧米のアジアへの進出をからめて考える オスマン帝国支配の動揺とアラブの目ざめ 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動	・アジア諸国に対しての欧米の進出の影響、その後の民族運動についての知識【知】 ・欧米諸国の進出がアジア国家に与えた影響とその後の経済活動に関する理解【知】 ・明治維新後の日本が欧米のアジア進出に対してどのような対応だったのかについての興味・関心【関・思】 前期期末考査
10 11	世界戦争の時代 国民国家体制と東西の対立	日本とアジアの関わり、大戦を起こした日本と戦後について、世界史的視点での二つの大戦とその後の冷戦、第三世界の成立等の状況から考える 第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ民族主義の進展 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 第二次世界大戦 東西対立の始まりとアジア諸地域の自立 冷戦構造と日本・ヨーロッパの復興 第三世界の自立と危機 米・ソ両大国の動揺と国際経済の危機	・大戦の原因とその後の歴史の進展についての知識【知】 ・国家の政治経済活動を反映した国際紛争、国際経済の展開に関する理解【知】 ・大戦とその後の現代世界について、原因でもあった日本の果たした役割についての興味・関心【関・思】 後期中間考査
12	君たちの時代へ	現代日本がかかえる課題について、世界史の現代史の展開を通して考える 冷戦の解消と世界の多極化 ソ連・東欧社会主義国の解体とアジア圏社会主義国の転換 第三世界の多元化と地域紛争 現代文明	・現代の多様な国際情勢についての基本的知識【知】 ・地域紛争の原因と多極化する国際社会についての理解【知】 ・現代社会における日本の立場、役割についての興味・関心【関・思】
1	(文系のみ) 私大・二次向け 演習	大学入試の問題演習を通して、社会科学で何が問われているのかを考える	・実際に大学の入試問題をとけるかどうか【知】 ・求められていることが実際に知識偏重になっていないことの確認【思・資】 ・入試問題の中で要求される社会科学の方法論についての関心【関・思】